

議事録要旨

会議名	令和3年度 第1回あわら市地域ブランド戦略会議
開催日時	令和4年3月16日(水) 14:00~
開催場所	あわら市役所 正庁
出席者 (敬称略)	<p>【地域ブランド戦略会議委員(9名)】 あわら市/森之嗣(市長)、あわら市商工会/赤尾政治(副会長)、あわら市観光協会/前田健二(会長)、株式会社金津技研/伊藤憲治(代表取締役)、芦原温泉旅館協同組合/山口透(会長)、福井工業大学/川島洋一(教授)、(株)福井銀行芦原支店/朝倉和博(支店長)、あわら市/城戸橋政雄(副市長)、あわら市教育委員会/甲斐和浩(教育長)</p> <p>【事務局(11名)】 あわら市創造戦略部/西川(部長)、あわら市土木部/永井(部長)、あわら市経済産業部/武田(部長)、あわら市創造戦略部政策広報課/江川(課長)、西正(課長補佐)、吉川(主事)、谷畠(主事)、あわら市経済産業部観光振興課/赤神(課長補佐)、あわら市土木部新幹線まちづくり課/山本(課長)、翠(課長補佐)、木村(主査)</p>
報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ・芦原温泉駅まちづくりデザイン部会報告について ・令和3年度あわら市地域ブランド発信事業について ・あわら市地域ブランド戦略会議の廃止について
会議内容 要旨	<p>進行)事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ●会長 令和6年春の北陸新幹線芦原温泉開業認定駅周辺の整備が進むなか、JR芦原温泉駅西口にアフレアの建設が昨年12月に着工された。今後、地域の方々を巻き込んだ議論を進めて考え進めていきたいと考えている。 2年後の開業に向けて、活発なご意見をいただきたいと思う。 ●まちづくりデザイン部会長 芦原温泉駅まちづくりデザイン部会実施報告(資料1) <p>質疑、応答</p> <ul style="list-style-type: none"> ●委員 マルシェの開催する時期、おおよその数、どのように開催するのか。また、マルシェの出店者は、どういったところから募集するのか。 ●まちづくりデザイン部会長 具体的な人数や時期、募集先はまだ決まっていない。具体的なサンプルを作っただけなので、次のステージで検討したい。 ●副市長 備品調達の日程など、決まっているものはないか

議事録要旨

●新幹線まちづくり課

テーブルや椅子は4月早々にプロポーザル方式で募集をする。ホールの200インチの大型モニターも同様。今の予定では、6月にプロポーザルを実施予定。

●委員

施設の利用はいつからか。機運醸成イベントをここでやりたいと思っている。また、これからのことは、デザイン部会で考えていくのか、それとも別組織で考えていくのか。

●観光振興課

施設は、12月に完成。1, 2月に内装工事。早ければ3月下旬、4月ごろになる。2点目は、協議事項4で説明する。

●委員

1年前イベントをその施設で行いたい。行程的に難しいのか。3月14日の出発式は変わらないと思う。

●観光振興課

そこを目指してすすめていきたい。

●事務局

地域ブランド発信事業について説明（資料2）

「おにぎりアクション2021」について

「あわら感幸創造マイスター」養成セミナーについて

令和3年度決算見込みについて

質疑、応答

●委員

あわら贅沢を終了するのか。今後、VR、ARの導入は考えているのか。おにぎりアクションの2022年はやるのか。SDGsの観点から、このような活動を子どもたちに体験させていきたい。

●事務局

あわら贅沢は、ふるさと愛を醸成させるため今後も使っていきます。

●事務局

VR、ARの導入については、観光協会からのご意見として受け入れ、検討していきたい。まずは、職員のデジタルリテラシー向上を目指し取り組んでいく。

●事務局

2022年のおにぎりアクションは、事務局レベルであるが、実施するという連絡はある。2022年も参加し、前田委員が言うようにSDGsの観点から市内の学校で、積極的に取り組んでいけるよう検討していきたい。

●教育長

全ての学校が参加するのは難しい。しかし、今後も参加できるところは参加し、食を含

議事録要旨

め環境教育や SDGs についても、子どもたちの学習をすすめていきたい。

● 委員

市に対する愛着が下がっている。このような結果になったのは、どのような問題、課題があったか。そこから分析して今年度どのような活動をしてきたのか。

● 事務局

ふるさと教育で、市の愛着を育むものだと考える。これは長い目でみてもらいたい。

● 委員

ふるさと教育は、子どもが対象ではないのか。アンケートは全年齢対象で、このような結果が出ている。全体的なとらえ方をして、今年何をしたのだろうかという考えが大切。イベントや事業をもっと市民に広報すべき。市には可能性を秘めた場所やイベントなどたくさんある。それを知ってもらうことが必要。

● 事務局

おっしゃるとおり。Instagramや広報紙などを使い広報していきたい。

● 副市長

あわら贅沢については、新幹線芦原温泉駅開業に向けて地域のブランディングを進めようということで作った。「あわら」というものがこれだというものがない。また、途中からあわら贅沢の意味合いがシビックプライドの醸成というものになってしまった。このタイミングで性格をはっきりさせておく必要がある。改めて今後のブランディングをどうするのか。皆さんの意見をいただきたい。

● 委員

ブランド発信ができた目的は、新幹線開業に向けてである。各種団体と協力して、こういった会議を設けて、新幹線開業に向けてオールあわらでやっていくという舵取りをしてもらいたい。

● 委員

ブランディングはどう展開していくかが重要。都度どうしようとするものではない。ブランディングの戦略をたてるため、クリエイティブディレクターというような立場の人がいるとよいのではないか。どう宣伝するかも含めて、そういった人がいた方が効率的にすすむ。

● 委員

これは、内向きのスローガンであるように感じる。人を呼ぶためのスローガンにしては弱いと個人的に思う。変えるなら思い切った決断を。

● 事務局

今後の体制等も含め、検討していきたい。

● 市長

これを簡単に変えるのは難しいと考えている。2年後がゴールではなく、スタートである。そう考えるとまだ、時間はある。皆さんの意見を含め考えていく。

議事録要旨

	<ul style="list-style-type: none">●事務局、観光振興課 あわら市地域ブランド戦略会議の廃止について（資料3、4） 質疑、応答●委員 アフレア活性化委員会は10月からでよいのか。空白の期間があるのが気になる。●観光振興課 皆さんの熱がさめないよう働きかけをしていく。一社を中心に検討してもらいたいで、この時期になっている。事務局としても協力していきたい。●委員 何らかの形で、ブランディングを考えていくような組織や会を続けてほしい。●事務局 現段階では、はっきり言えないが、検討していきたい。●副市長 4月から引き続きデザイン部会をしてもらいたい。ブランディングについては、現担当課とは別に行ってもらいたいと考えている。●委員 部会に分かれて検討してきたが、仕切り直して、総合的な検討委員会をつくってはどうか。意見の集約などしやすいと考える。●副市長 より柔軟に人が集まれるような組織でもよいと考える。 その他 閉会
--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------